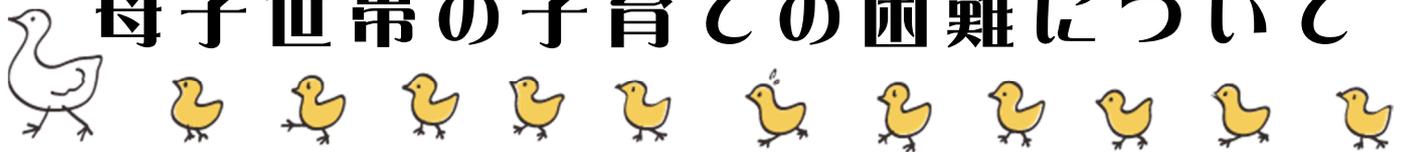


# 母子世帯の子育ての困難について



2018年2月24日(土)午後3時~5時

金沢市 松ヶ枝福祉館 4F集会室 (金沢市高岡町1-25)

報告者: 村上 慎司さん(金沢大学 地域創造学類)

- ▽ 2017年6月に厚生労働省が公表した平成28年国民生活基礎調査では、子どもの貧困率の改善が伝えられましたが、ひとり親の貧困率は未だに5割を超えている状況にあります。また、母親や子どもの生活実態は所得以外に、母親が生活のために利用できる時間や母子世帯を取り巻く人間関係のあり方などの多角的な観点から把握する必要があります。
- ▽ こうした多角的な貧困概念を背景として、本報告は、2017年2月刊行された全労済協会の公募研究シリーズの報告書における母子世帯の子育て困難に関する研究内容の概要とその後に行った母子世帯当事者へのインタビュー調査を紹介・検討します。
- ▽ 同報告書の本研究は理論研究と事例調査研究から成り立ちます。理論研究は、経済学者アマルティア・センが提唱する福祉と自由の基礎概念であるケイパビリティに基づいた子育て関連ケイパビリティという独自の概念について提唱・検討しました。事例調査研究では、大阪府内で母子世帯を支援する活動を行っている3団体、さらに比較対象として子どもを主たる支援対象としている1団体、関東で母子世帯の支援活動をしている2団体に、半構造化インタビューを行いました。母子世帯当事者へのインタビュー調査では、京都市内の母子世帯当事者に対して、先の子育て関連ケイパビリティに基づく調査リストを尋ねました。
- ▽ 上記のような研究内容に関する報告を行ったうえで、参加者のみなさんと母子世帯の子育ての困難について議論を深めたいと思います。

事前申し込み不要、参加費無料です。多くの方のご参加をお待ちしております。

主催：医療・福祉問題研究会

〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学地域創造学類社会保障論研究室内

ホームページ <http://ihmk.sakura.ne.jp/>

お問い合わせ先 (E-mail)

ihmk1986★gmail.com (送信時は、★→@に変えてください)